1. おでかけカルテ及びアンケート調査の分析結果(区長・民生委員)

【目的】地区住民の皆さんがよく行くおでかけの目的地を聞いて、地域の移動に関する大 まかな流れを把握する。

○発送数及び回収率について

区長	
発送	108
回収	92
回収率	85. 185%

民生委員	
発送	44
回収	41
回収率	93. 182%

○移動先(目的地)トップ5(小学校区単位で集計、回答件数と利用頻度から点数化)

• 西里小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	河北病院	友人の家
2位	ヨークベニマル	谷地整形	散歩
3位	ウエルシア	すみや眼科	習い事
4位	クスリのアオキ	青木医院	ひなの湯
5位	薬王堂	斉藤医院	ドライブ

• 溝延小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	谷地整形	散歩
2位	ヨークベニマル	河北病院	友人の家
3位	薬王堂	すみや眼科	習い事
4位	クスリのアオキ	公立病院	イオンモール天童
5位	おーばん	県立中央病院	なでしこ広場

• 北谷地小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヨークベニマル	河北病院	散歩
2位	ヤマザワ	すみや眼科	習い事
3位	クスリのアオキ	谷地整形	友人の家
4位	薬王堂	県立中央病院	ドライブ
5位	ウエルシア	板坂医院	イオンモール天童

• 谷地中部小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヨークベニマル	河北病院	散歩
2位	ヤマザワ	つかさ内科	友人の家
3位	クスリのアオキ	谷地整形	ドライブ
4位	イオンモール天童	すみや眼科	フォーラム東根
5位	薬王堂	和田医院	習い事

• 谷地西部小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	河北病院	ひなの湯
2位	ヨークベニマル	つかさ内科	カープス
3位	クスリのアオキ	谷地整形	散歩
4位	イオンモール天童	すみや眼科	友人の家
5位	アグリランドひな産直	かほく紅花クリニック	イオンモール天童

• 谷地南部小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	つかさ内科	ドライブ
2位	ヨークベニマル	河北病院	散歩
3位	クスリのアオキ	谷地整形	友人の家
4位	イオンモール天童	すみや眼科	フォーラム東根
5位	アグリランドひな産直	県立中央病院	ひなの湯

○移動先(目的地)について

- ・主たる買い物は、週単位で町内店舗(ヤマザワ谷地店等の大型店)に行っている。
- ・主たる通院は、月単位で町内医療機関(河北病院等)に行っている。
- ・楽しみの移動は、町内外問わず、様々な場所へ行っている。

【問】住民同士が乗せあう移動サービスについて

①地域住民で協力しあえる雰囲気がある	10
②どちらともいえない	53
③地域住民で協力しあえる雰囲気はない	22

ノッカルのような住民同士が乗せあう移動サービスは住民の意識醸成がなされていない。 「制度の周知」や「意識の醸成」という段階であり、今後の検討を見据えてPR(問題提起を含む)していく必要がある。

2. アンケート調査の分析結果(中学生保護者)

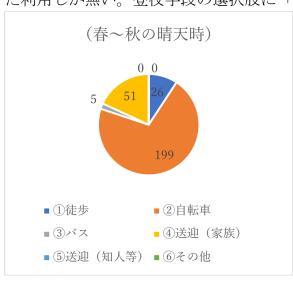
【目的】子どもの通学実態や今後の公共交通の改善に向けた意見を把握する。

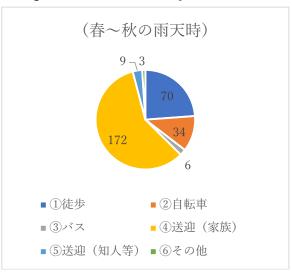
・発送数及び回収率について

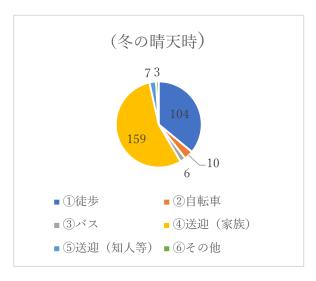
中学生保護者	
発送	410
回収	215
回収率	52. 439%

【問1】お子様の登校(学校に行く)時の通学方法について

冬や雨天時などの天候不順な時に、「①徒歩と②自転車」が「④送迎(家族)と⑤送迎(知人等)」になっている。「③バス」は時期や天候でも変化が無いことから、少数の固定された利用しか無い。登校手段の選択肢に「③バス」が選ばれていない。





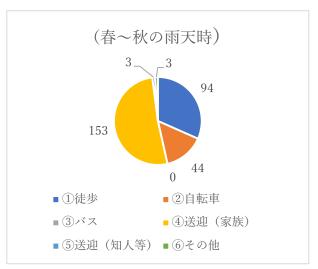




【問2】お子様の下校(学校から帰る)時の通学方法について

冬や雨天時などの天候不順な時に、「①徒歩と②自転車」が「④送迎(家族)と⑤送迎(知人等)」になっている。「③バス」は利用が無い。下校手段の選択肢に「③バス」が選ばれていない。









【問3】お子様の送迎についてのご家庭での考え

「①負担に感じる」53件「②やや負担に感じる」93件と合計すると75%以上の保護者が送迎に負担を感じている。



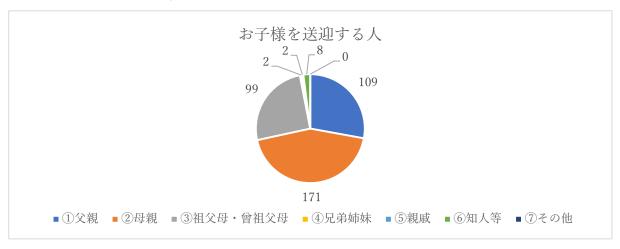
【問3続】お子様の通学の送迎に対するご家庭での感想について

「②お子様のためなのでしょうがない」149 件と 80%以上の保護者が負担感はありながらも、しょうがないと思っている。



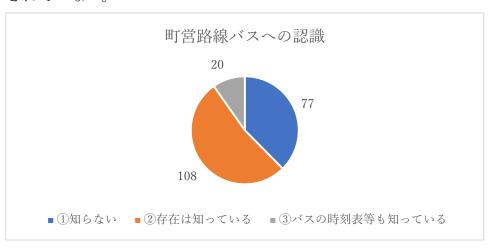
【問3続】お子様を送迎する人

「①父親」109 件、「②母親」171 件、「③祖父母、曾祖父母」99 件と両親だけでなく、祖 父母等も送迎している。



【問4-1】町営路線バスへの認識

「③バスの時刻表等も知っている」が 20 件だけであり、割合にすると 10%未満となっている。バスというものが登校手段に選ばれていないため、時刻表等の詳細な情報が周知されていない。



【問4-2】朝の通学で、町営路線バスをお子様に利用してもらいたいか

【問4-3】問4-2のように答えた理由は

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」5件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」89件、「③あまり利用してほしくない」91件となっている。利用してほしくないの理由として、バスを利用するほどの距離ではないということもあるが、時間が早すぎる、遠回りになる、バス停まで遠い、送迎の方が早いという意見がある。利用させるとしても天候不順時や送迎の負担軽減というスポット利用が多い。



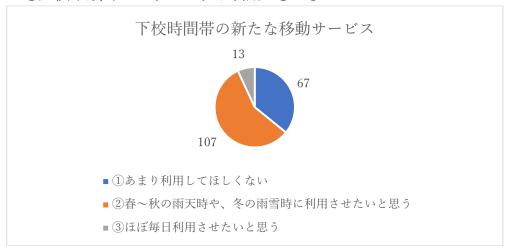
【問5】朝の定時定路線バスを予約制にして、予約があった時だけ定時定路線バスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」88 件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」97 件、「③ほぼ毎日利用させたいと思う」4 件となっており、利用させるとしても天候不順時というスポット利用が多い。



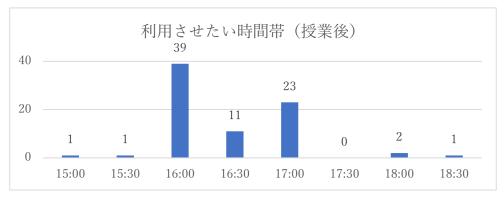
【問6】下校時間帯に、学校から自宅最寄りの乗降場所まで安価に利用できる新たな移動 サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

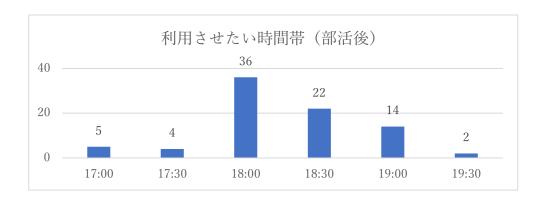
「①あまり利用してほしくない」67件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」107件、「③ほぼ毎日利用させたいと思う」13件となっており、利用させるとしても天候不順時というスポット利用が多い。



【問6続】下校時間帯の新たな移動サービスを何時頃に利用させたいか

- ・学校の授業が終わった後に、__時頃に出発するなら、利用させたいと思う「16:00」39 件、「16:30」11 件、「17:00」23 件と 16 時~17 時に合計 73 件であった。
- ・部活が終わった後に、__時頃に出発するなら、利用させたいと思う 「18:00」36 件、「18:30」22 件、「19:00」14 件と 18 時~19 時に合計 72 件であった。
- ・塾や習い事が終わった後に、__時頃に出発するなら、利用させたいと思う「19:00」7 件、「20:00」1 件、「21:00」3 件と時間帯はバラバラに合計 11 件であった。







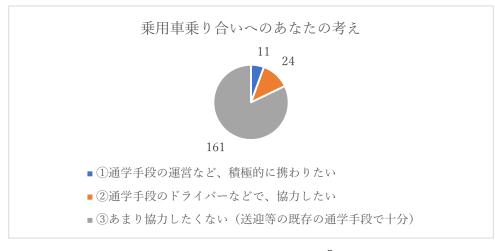
【問7】あなたがお住まいの地区では、「行政や交通事業者の協力も得ながら、地域住民が 主体となって子どもたちの通学手段をつくり、自ら走らせている」という取り組みを行え るような雰囲気はあるか

「①地域住民で協力しあえる雰囲気がある」11 件、「②どちらともいえない」120 件、「③ 地域住民で協力しあえる雰囲気はない」75 件と、導入について前向きな雰囲気が1割も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【問8】もし、地域住民が主体となって子どもたちの通学手段をつくった場合、あなた自身は協力するか

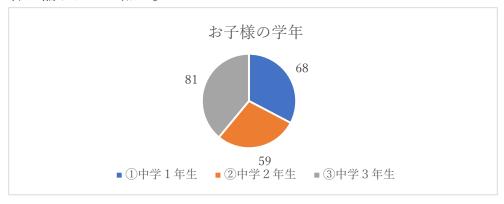
「①通学手段の運営など、積極的に携わりたい」11 件、「②通学手段のドライバーなどで、協力したい」24 件、「③あまり協力したくない(送迎等の既存の通学手段で十分)」161 件と、協力していきたいという意見が2割も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【間9】お子様とあなた自身のことについてお聞かせください。

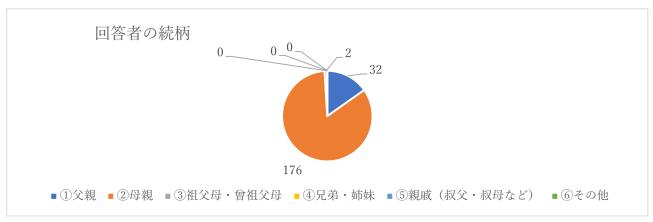
【お子様の学年】

「①中学1年生」68件、「②中学2年生」59件、「③中学3年生」81件と、学年ごとの回答に偏りはほぼ無い。



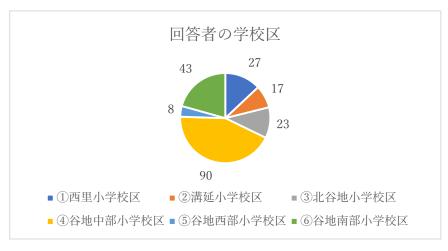
【あなた(回答者)の続柄】

「①父親」32 件、「②母親」176 件、「③祖父母、曾祖父母」2 件と約8割が母親の回答であった



【お住まいの校区】

「①西里小学校区」27件、「②溝延小学校区」17件、「③北谷地小学校区」23件、「④谷地中部小学校区」90件、「⑤谷地西部小学校区」8件、「⑥谷地南部小学校区」43件と小学校区の児童数により回答数に違いがあるが、全ての学校区から回答を得られた。



3. アンケート調査の分析結果(高校生保護者)

【目的】子どもの通学実態や今後の公共交通の改善に向けた意見を把握する。

・発送数及び回収率について

高校生保護者	
発送	439
回収	232
回収率	52. 847%

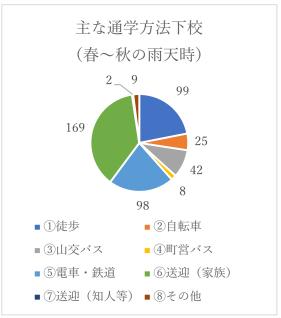
【問1】お子様の通学方法について

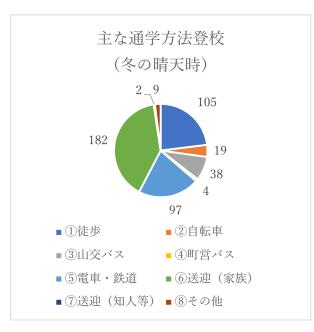
冬や雨天時などの天候不順な時に、「③山交バス」利用が10件程度増える。河北町⇔寒河江市の利用と考えられる。「⑥送迎(家族)」については、山形市方面の高校は季節や天候に関わらず数が一定のため、「通学方法が送迎」と決まっていると推測される。寒河江市方面の高校の場合、冬や雨天時などの天候不順な時に30件程度増える。通学方法について、自力で通学できない場合は送迎することが一般的になっている。

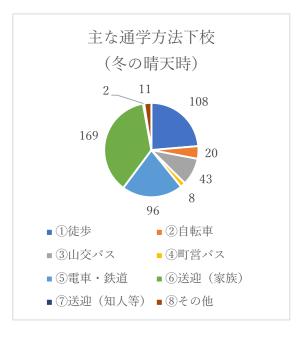
















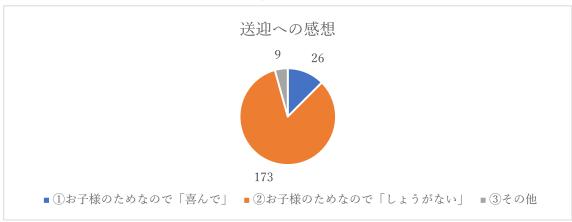
【問2】お子様の送迎についてのご家庭での考え

「①負担に感じる」82 件、「②やや負担に感じる」87 件と合計すると 80%以上の保護者が送迎に負担を感じている。



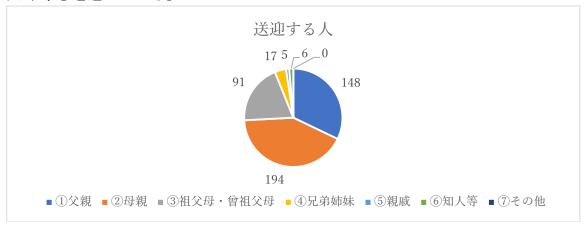
【問2続】お子様の通学の送迎に対する考え

「②お子様のためなのでしょうがない」173 件と 80%以上の保護者が、負担感がありながらも、しょうがないと思っている。



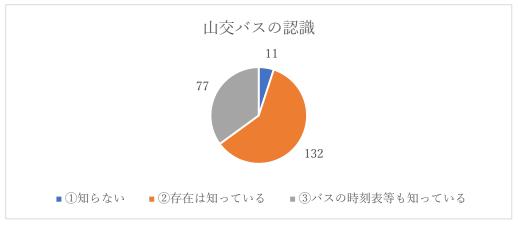
【問2続】お子様を送迎する人(いくつでも○)

「①父親」148 件、「②母親」194 件、「③祖父母、曾祖父母」91 件と両親だけでなく、祖父母等も送迎している。



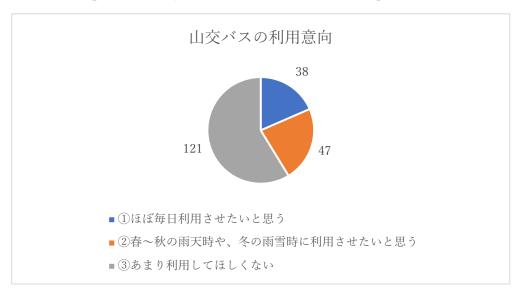
【問3-1】山交バスの路線バスへの認識

「③バスの時刻表等も知っている」が 77 件であり、割合にすると 40%未満となっている。山交バスの存在は周知されているが、時刻表等の詳細な情報が周知されていない。



【問3-2】朝の通学で、山交バスをお子様に利用してもらいたいか

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」38件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」47件、「③あまり利用してほしくない」121件となっている。

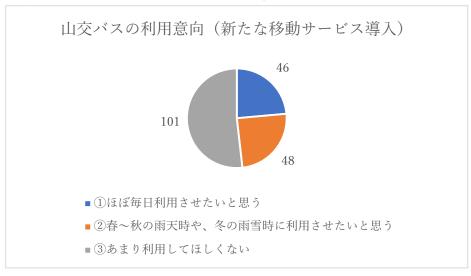


【問3-3】問3-2のように答えた理由

毎日利用させたいが約2割で、その理由は、送迎の負担軽減のための意見がある。利用させるとしても天候不順時、送迎の負担の面でスポット利用が約2割である。あまり理由してほしくないと思う方は約5割で、その理由は、谷地~寒河江線を利用していない、利用できないということもあるが、時間が合わない、送迎のほうが早い、料金の負担がある、最寄りのバス停まで遠いという意見となっている。

【問3-4】自宅最寄りの乗降場所から山交バスのバス停まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、山交バスを通学に利用しようと思いますか。

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」46 件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」48 件、「③あまり利用してほしくない」101 件となっており、「問3-2」と比較しても件数の大きな変動が無い。



【問4-1】平日の20時以降に寒河江市から河北町まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」75 件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」30 件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」41 件、「②と③の両方」40 件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」21 件となっており、利用させるとしてもスポット利用が約半数、毎日の利用は約10%となっている。



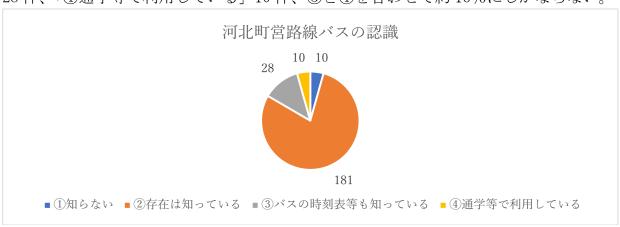
【問4-2】土日祝日に寒河江市と河北町の間を結ぶ新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」58件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」43件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」37件、「②と③の両方」40件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」31件となっており、利用させるとしてもスポット利用が約半数、毎日の利用は約15%となっている。



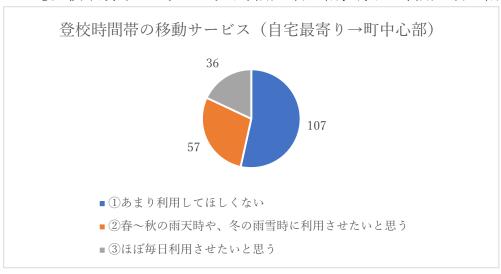
【問5】町営路線バスへの認識

「①知らない」10 件、「②存在は知っている」181 件、「③バスの時刻表等も知っている」 28 件、「④通学等で利用している」10 件、③と④を合わせて約 16%にしかならない。



【問6】登校時間帯に、自宅最寄りの乗降場所から町中心部(山交バスや町営の路線バスと乗り換えができる)まで、安価に利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

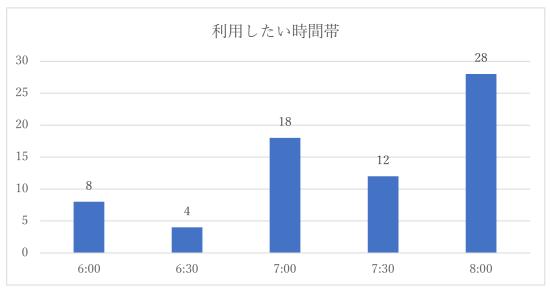
「①あまり利用してほしくない」107件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」57件、「③ほぼ毎日利用させたいと思う」36件となっており、利用させるとしても天候不順時というスポット利用が約3割、毎日の利用が約2割となっている。



【間6続】何時頃に利用させたいか

・ __ 時頃に町中心部へ到着するなら、利用させたいと思う

「6:00」8件、「6:30」4件、「7:00」18件、「7:30」12件、「8:00」28件あった。(総件数が少なく、山形市方面への登校なら6時台、遅くても7時でないと間に合わない。山形市方面への通学支援策としては弱い。)



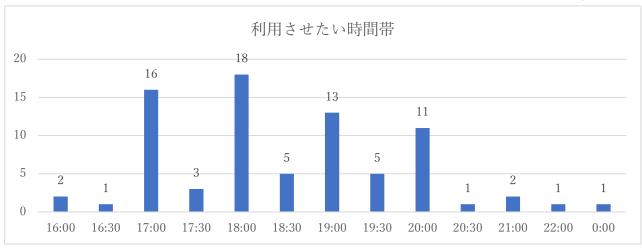
【問7】下校時間帯に、町中心部(山交バスや町営の路線バスと乗り換えができる)から 自宅最寄りの乗降場所まで、安価に利用できる新たな移動サービスを走らせることにした 場合、お子様に利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」99 件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」38 件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」6 件、「②と③の両方」24 件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」31 件となっており、利用させるとしてもスポット利用が約34%、毎日の利用は約15%となっている。



【問7続】何時頃に利用させたいか

・__時頃に町中心部を出発するなら、利用させたいと思う 回答にばらつきがあるが、17時~20時が比較的多く、合計71件となっている。



【問8】あなたがお住まいの地区では、「行政や交通事業者の協力も得ながら、地域住民が 主体となって子どもたちの通学手段をつくり、自ら走らせている」という取り組みを行え るような雰囲気はあるか

「①地域住民で協力しあえる雰囲気がある」11 件、「②どちらともいえない」114 件、「③地域住民で協力しあえる雰囲気はない」100 件と、導入について前向きな雰囲気が 5%も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【問9】もし、地域住民が主体となって子どもたちの通学手段をつくった場合、あなた自身は協力しますか

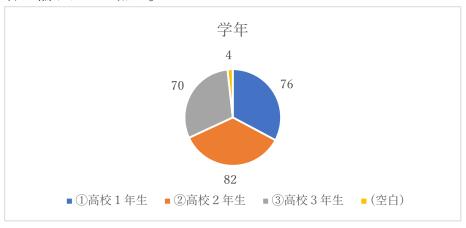
「①通学手段の運営等、積極的に携わりたい」6件、「②通学手段のドライバー等で、協力したい」27件、「③あまり協力したくない(送迎等の既存の通学手段で十分)」179件と、協力していきたいという意見が2割も無い。今後の意識醸成に向けた取組みが必要である。



【問10】お子様とあなた自身のことについてお聞かせください。

【お子様の学年】

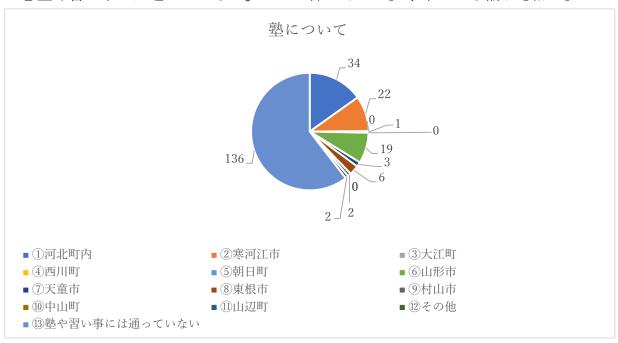
「①高校1年生」76件、「②高校2年生」82件、「③高校3年生」70件と、学年ごとの回答に偏りはほぼ無い。



【お子様の高校名】 (多数あるため略)

【お子様の通っている塾や習い事の市町】

多い市町から「①河北町内」34件、「②寒河江市」22件、「⑥山形市」19件であったが、「③塾や習い事には通っていない」が136件であった。学年による偏りも無い。



【あなた(回答者)の続柄】

「①父親」50件、「②母親」175件、「③祖父母、曾祖父母」4件と約75%が母親の回答



【お住まいの校区】

「①西里小学校区」28件、「②溝延小学校区」26件、「③北谷地小学校区」19件、「④谷地中部小学校区」97件、「⑤谷地西部小学校区」7件、「⑥谷地南部小学校区」47件と小学校区の児童数により回答数に違いがあるが、全ての学校区から回答を得られた。



4. アンケート調査の分析結果(谷地高校生保護者)

【目的】子どもの通学実態や今後の公共交通の改善に向けた意見を把握する。

・発送数及び回収率について

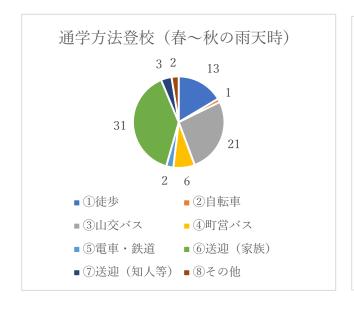
谷地高校生保護者	
(町外在住)	
発送	90
回収 50	
回収率	55. 556%

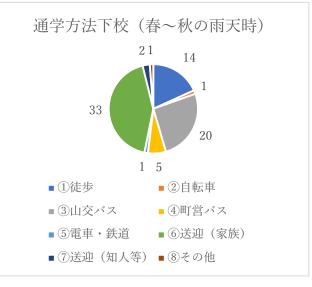
【問1】お子様の通学方法について

「③山交バス」、「④町営バス」利用が一定である。季節や天候に関わらず利用者が固定されている。冬や雨天時などの天候不順な時に、「⑥送迎(家族)」については10件程度増える。近隣自治体から登校している生徒が送迎になっている。

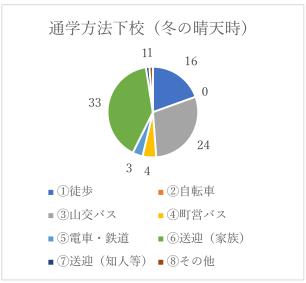


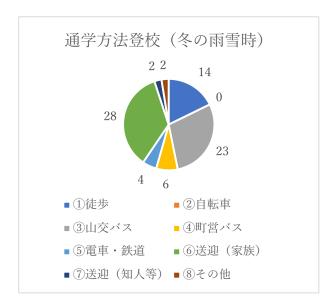


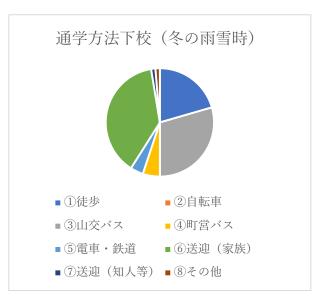






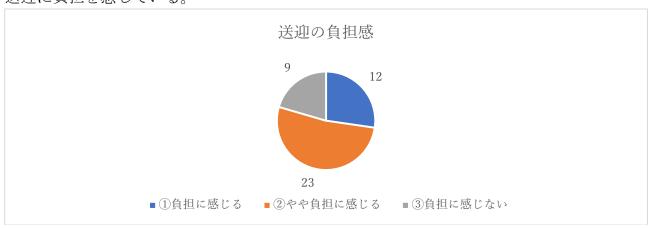






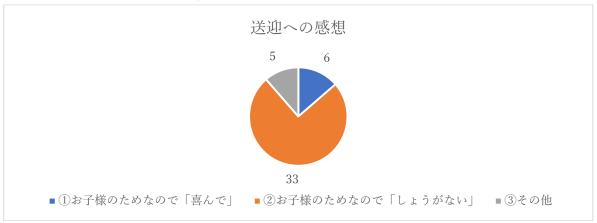
【問2】お子様の送迎についてのご家庭での考え

「①負担に感じる」12件、「②やや負担に感じる」23件と合計すると約80%の保護者が送迎に負担を感じている。



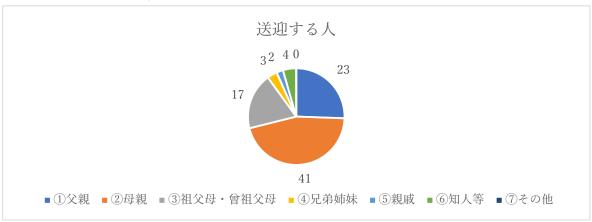
【問2続】お子様の通学の送迎に対するご家庭での感想について

「②お子様のためなのでしょうがない」33件と75%の保護者が、負担感がありながらも、しょうがないと思っている。



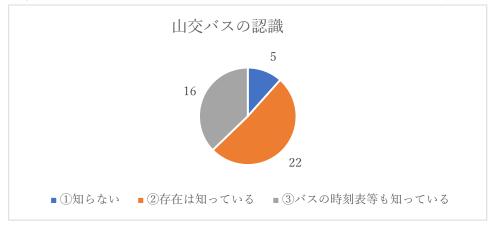
【問2続】お子様を送迎する人

「①父親」23 件、「②母親」41 件、「③祖父母、曾祖父母」17 件と両親だけでなく、祖父母等も送迎している。



【問3-1】山交バスの路線バスへの認識

「③バスの時刻表等も知っている」が 16 件であり、割合にすると 40%未満となっている。山交バスの存在は周知されているが、時刻表等の詳細な情報が周知されていない。



- 【問3-2】朝の通学で、山交バスをお子様に利用してもらいたいか
- 【間3-3】間3-2のように答えた理由を教えてください。

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」21件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」7件、「③あまり利用してほしくない」11件となっている。半数以上が利用に積極的であり、天候不順時というスポット利用が約18%となっている。利用してほしくない理由としては、利用できないということが一部あるが、時間が合わない、バス停が近くにない、送迎の方が早いなどの意見がある。



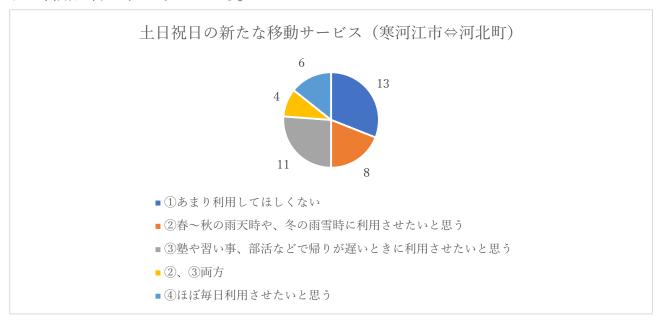
【問4-1】平日の19時以降に河北町から寒河江市まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」13 件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」6 件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」15 件、「②と③の両方」5 件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」3 件となっており、約 30%が利用してほしくない (利用できないを含む)、利用させるとしてもスポット利用が約 60%、毎日の利用は約 7%となっている。



【問4-2】土日祝日に寒河江市と河北町を結ぶ利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」13 件、「②春~秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」8 件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」11 件、「②と③の両方」4 件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」6 件となっており、約 30%が利用してほしくない(利用できないを含む)、利用させるとしてもスポット利用が約半数、毎日の利用は約 15%となっている。



【問5】お子様とあなた自身のことについてお聞かせください。

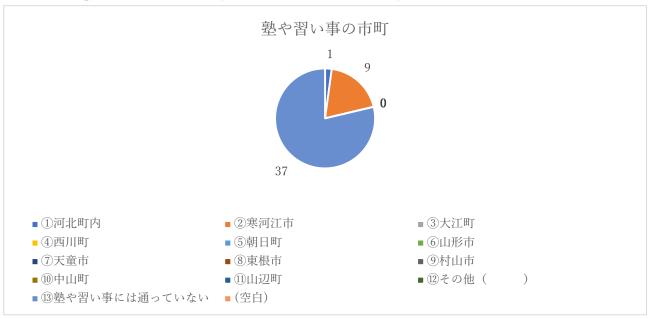
【お子様の学年】

「①高校1年生」21件、「②高校2年生」10件、「③高校3年生」18件と、学年ごとの回答に偏りはほぼ無い。



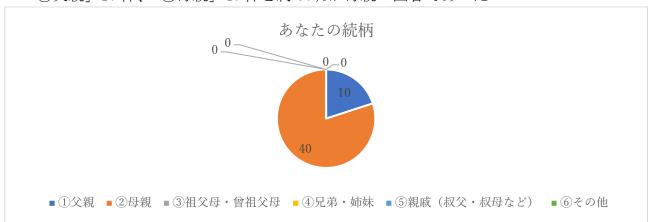
【お子様の通っている塾や習い事の市町】

多い市町から「②寒河江市」9件、「①河北町内」1件であったが、「③塾や習い事には通っていない」が37件であった。学年による偏りも無い。



【あなた(回答者)の続柄】

「①父親」10件、「②母親」40件と約80%が母親の回答であった



【お住まいの市町】

